

結んでひろいて

74

2012/October



「緑化・環境保全」



「地域・まちづくり」



「子ども・見守り」



「コモンスペース」



「ネットワーク」



世田谷まちづくりファンドは、今年で 20周年を迎えました。

まちづくりの区民参画型ファンドとして、全国に先駆けて1992年に設立され、以来ファンド助成をうけた活動グループは、277を数えるまでになりました。活動グループがつながり、共に学びあい、大きなまちづくり活動の輪がひろがっています。



平成24年度 第20回 公益信託世田谷まちづくりファンド助成事業

5月26日(土)に、「はじめの一步部門」の書類審査と「まちを元気にする拠点づくり部門」の予備選考会(公開)が、6月3日(日)に、「まちづくり活動部門」の公開審査会が開催されました。20周年を迎えた今回は、応募した30グループの全グループへの助成が決定しました。各グループの活動が始まっています。

■はじめの一步部門 まちづくり活動部門の助成グループの紹介

部門	グループ名	テーマ	助成決定額(万円)
はじめの一步部門	(特非)日本防災士会世田谷支部	一般市民を対象とした防災啓発活動と災害時における支援活動に取り組む防災士や防災士の活動に賛同する市民の支援を行うことにより、地域防災力の向上を図る。	5.0
	ヨガ・ヒーラー・アソシエイツ	ヨガで地域に住む人の心身を健康にする。ヨガで地域を活性化させる。	5.0
	無職FES実行委員会	失業した若者の就労支援と居場所作り	5.0
	スマイルプラネット	こどもたちをえがおにする「スマイルプラネット」	5.0
	下北沢カレー王座決定戦実行委員会	下北沢をカレーで元気にする	5.0
	カタクリの会	五節句に花を生けて楽しむ	5.0
	椎の木のしいのみたち	高齢者施設のお年寄りとの交流を深めるベースづくり	5.0
まちづくり活動部門 1回目	世田谷・Lien	子ども・働く女性・高齢者が笑顔で暮らせる家庭・コミュニティづくり	14.4
	アルファキッズクラブ	地域で顔の見える子育てまちづくり活動	15.4
	よみきかせボランティア藤の会	高齢者への絵本の出張よみきかせ	13.4
	世田谷区民のライフスタイルを考える会	クリーンエネルギーによる持続可能なまちづくり	22.9
	アート・イン・ファーム世田谷実行委員会	「芸術」の生産緑地としての農地：アートでつなぐ地域と農	15.8
	トランジション世田谷 茶沢会	人と自然、地域とのつながりを大事にした持続可能なまちづくり	28.3
	下北沢発：シンデレラ・プロジェクト	被災地支援によって下北沢の集客力向上を図る	13.4
	猫家 ※(助成決定後、辞退)	井戸端会議の井戸になる	(16.0)
	フレンドリーグループ	花と健康増進	18.4
	あかねこうぼう	ギャラリーと手しごとで、笑顔と文化が育つみんなの居場所	29.3
	子どもでつながるハートくらぶ	共に助け合い、育ち合う子育てのネットワークづくり	14.9
	どんだんガガガ隊!	絵のある絵になる街をみんなで創ろう!!	23.5
	世田谷環境学習会	身近な環境を知り、学び、伝えあい、世田谷に環境保全の輪を広げる	18.8
まちづくり活動部門 2回目	千歳小おやじの会	千歳小学校のおやじたちが中心となって、校外学習を通じて、子どもたちの健全な育成と地域活動に対して貢献を行う	15.0
	からすやま地域の力を集める会	あおぞらワークショップ&東日本大震災復興支援コンサート(まちの課題発見と解決にむけたネットワークづくり)	29.3
	NPO法人 玉川にエコタウンをつくる会	二子玉川の緑の保全と再生及び街づくり	28.3
	アロマXセルフケア協会 Selfeel(セルフイール)	ここからコミュニケーション!	14.4
	街づくりの仲間たち	区の計画づくりに関わり、区民による提案づくりをめざす	15.9
まちづくり活動部門 3回目	働きたいママの応援Café	子育てしながらX仕事もするママ応援=絵本カフェの仕事場づくり	19.2
	東京グリーンプロジェクト	子どもに無農薬野菜を!	31.2
	フラワーランド園芸ミニディ	高齢者・障がい者・子どもたちが花づくりに参加することにより、元気で生き甲斐を持って暮らせる"まち"の創設	19.4
	野川(世田谷区部)の多自然川づくりを考える連絡会	野川の多自然川づくりについて考える	37.0
まちを元気にする拠点づくり部門(予備選考)	世田谷空家再生生活活用協議会 ※(助成決定後、辞退)	世田谷区に眠る空き家を再生し、地域のつながりを創造するコミュニティーカフェ体型シェアハウス	10.0
※(辞退グループを除く) 合計			473.2

■特別部門 災害対策・復興まちづくり部門の助成グループの紹介

平成24年3月3日(土)に「災害対策・復興まちづくり部門」の公開審査会が開催され、応募総数10グループ中、4グループへの助成が決定し、活動進行中です。

東日本大震災の被災地において、世田谷のまちづくりで培ったそれぞれのグループのスキルやノウハウを用いた支援活動が、始まっています。そしてその活動から得られた知識、経験、成果を区民と分かち合い、世田谷の災害対策等に関するまちづくりに還元することが求められています。



1 芦花公園しあわせの野音の会	だれでもどこでもやってみよう『緑日で<ともだち>』プロジェクト	69.5
2 福島の子もたちとともに・世田谷の会	福島の子もたち等の保養、定住支援と避難者支援	76.8
3 遊びとまち研究会	遊び場マップを通じた遊びの原風景の保存と復興に向けた多世代協働ネットワークの支援	76.8
4 こちカフェ隊	被災地における地域共生のいえ(カフェ)づくり	76.8

※活動成果発表会(公開)を予定しています。平成25年3月2日(土) 成城ホール

(財)世田谷トラストまちづくり主催の交流会

当財団では、まちづくり活動グループ相互の出会いや情報交換の機会として、交流会を毎年開催しています。

ウェルカム懇談会 ファンドからはじめて助成を受けるグループに呼びかけ、先輩のまちづくりグループとの交流を図る場です(今年度は6月26日に開催)。

まちづくり交流会 まちづくり活動に関心のある人、まちづくり活動をすすめている人たちの出会いと学びの場です。当該年度の助成グループも一同に会します(今年度は10月27日に予定)。



新しいファンド運営委員候補の推薦を募ります

今年度末に任期を終え、欠員となる運営委員を新しく選出するために、新運営委員候補の推薦を募ります。詳しい募集内容については、当財団ホームページをご覧ください。

<http://www.setagayatm.or.jp/>

助成グループへの審査講評はこちらから

http://www.setagayatm.or.jp/trust/fund/this_year_group.html



平成23年度(第19回) ファンド助成グループによる活動紹介

19th

「世田谷まちづくりファンド」から、昨年度助成を受けた、まちづくりグループの1年間の活動成果や今後の活動方針などをお伝えします。

緑化・環境保全

トランジション世田谷 茶沢会

地域へ自然エネルギーを取り入れることと、その仲間づくり

太陽光パネルを制作するワークショップやエネルギーの勉強会を開催。地域へ自然エネルギーを取り入れる事、そのネットワークづくりとする目標を達成する事が出来た。今後は、自然エネルギーへのシフト、コミュニティガーデン、地域マルシェ、地域コミュニティづくりを中心に活動をしていきたい。



<http://sites.google.com/site/ttsetagaya/>

パーマカルチャーガーデン世田谷

コミュニティガーデンのモデルケースづくり

地域住民のコモンルーム(通称「たぬき村」)の整備、ホームページの作成。また、イベントやワークショップの参加者も加わり、「都市にコミュニティガーデンを作る会」「たぬき村にツリーハウスを作る会」など様々な分科会が生まれ、月1回程度、定期的に活動している。



<http://www.makubito.com/>

フラワーランド園芸ミニディ

高齢者・障がい者・子どもたちが花づくりに参加することにより元気と生き甲斐を持って暮らせる"まち"の創出

活動の拠点を毎年増やし、区内施設4箇所の花壇作りや植栽の維持管理を施設利用者や地域の小学生・住民とともに、花づくりの楽しさを通じ、幅広い層の人たちの交流を促した。平成23年度世田谷区環境表彰を受賞。これからも地域の住み良い環境づくりに貢献していきたい。



<http://www42.tok2.com/home/femhp/>

野川(世田谷区部)の多自然川づくりを考える連絡会

野川の多自然川づくりについて考える

行政とともに、勉強会の実施や、写真展を開催することができた。最も大きな成果として、今年度の工事から野川でも多自然川づくりの手法を採用した工事をやってもらえることになった。今後も引き続き、治水と環境の両方に配慮した川づくりへの提案をしていきたい。



フレンドリーグループ

花づくり空間を通して地域のひろがりー手と手を結ぶ花づくりー

長年草しか生えていなかった公園に花壇を造り、地域に憩いの場を提供している。通りすがりの人に声を掛けられるなど、地域住民の関心も深まり、交流も生まれつつある。今後は、花を中心にレクリエーション的な活動も取り入れ「花と健康増進」の発想で、新たなまちづくりにチャレンジしたい。



きっかけファクトリー

耕作放棄地の"墾活"を通じたコミュニティ形成

「耕作放棄地の"墾活"を通じたコミュニティ形成」をテーマに活動してきたが、耕作放棄地の所有者探しが難航するなかで、区内の農家の方や他団体との繋がりができ、農業の持つ様々な可能性が見えてきた。今後は、新たに「農業支援を通じたコミュニティづくり」をテーマに活動していく。



東京グリーンプロジェクト

子どもに無農薬野菜を!

子どもたちと食の問題を考え、食に対する関心を深めてもらうことを目的に、地域と学校と連携をとりながら、堆肥作りから無農薬野菜の栽培、収穫、料理までを体験している。環境セミナーやワークショップを開催した。これからも地球環境を守る生活を提案していきたい。



<http://green-projects.net/>

豪徳寺駅周辺風景づくりの会

豪徳寺駅周辺の風景づくり

滝坂道通信掲示板の増設や、地図などを掲載した耐久性のある標識版を設置した。羽根木プレーパークで竹ポット作成の「竹細工会」を開催し、周知活動にもつながった。また北沢川緑道で照明実験を行い、アンケート調査をした結果を基に、区に提案予定。今後も、活動の幅をさらに広げていきたい。



公益信託 世田谷まちづくりファンド

「世田谷まちづくりファンド」は、区民の創意工夫にあふれたまちづくりを促進し、だれもが安心して暮らせる、人間性豊かで魅力的なまちを創造することを目的に設立された基金です。地域の住みよい環境づくりを目指す様々な区民主体のまちづくり活動に対して毎年助成を行っています。

はじめの一歩 部門 1 まちづくり活動 部門1回目 2 まちづくり活動 部門2回目 3 まちづくり活動 部門3回目

地域・まちづくり

からすやま地域の力を集める会

まちの課題発見と解決にむけたネットワークづくり

「あおぞらワークショップ&東日本大震災復興支援コンサート」を8月(6月を雨天順延)と11月に開催した。地域の良い点、問題点を共有し、自転車対策、防災、減災等、様々な課題解決に取り組んでいる。活動を通じ、地域住民、行政、商店街、他の活動団体などとのネットワークも広がっている。



NPO法人 玉川にエコタウンをつくる会

二子玉川の緑の保全と再生及び街づくり

二子玉川駅前広場の緑化、都立玉川高校廃校跡地利用を考えるワークショップ、自然環境教室「地球シンフォニー」震災復興支援上映会開催と順調に活動中。今後は、町会との協力関係を進め、又商店街やPTA等と活動のチャンネルを広げていきたい。



<http://ecotama.org/>

街づくりの仲間たち

「街づくりの仲間たち」が交流する場を本格的に立ち上げ育てる

街づくり条例や基本構想についての勉強会を開催する中で、「区民参加の計画づくりを提案する集い」を開催し、提案書として区長や審議会委員に提出した。引き続き区民・区議・区職員などさまざまな立場の人が街づくりを共に考える場として機能する場を目指す。



<http://machi-nakama.jimdo.com/>

SAN/せたがや地域共生ネットワーク 宮坂・経堂・赤堤

共生のまちづくりへ...芽を育むーまちをひらくSANの試みー

月例の「ご近所SANカフェ」の開催や「SANだより」の発行、勉強会・講習会・イベントの開催を通じ「まちなかの緑を考える」活動を積み重ねてきた。地域でつながったネットワーク力を被災地の復興への力につなげる取り組みとして、バザーやSANめぐりなどを開催した。



<http://san2010.blog118.fc2.com/>

子ども・見守り

子どもでつながるハートくらぶ

発達障害や支援の必要な子どもたちの正しい理解をし、地域の中で共に助け合い育ち合う子育てのネットワークを考える

企画した3回の講演会はどれも好評。交流サロンでは、発達障害の勉強会を通して、子育ての経験談や専門知識のある方々によるレクチャーなども実施できた。今後は、子育て世代のネットワークと様々な子どもの成長を理解することにより、みんなで育てる共育を地域に根差した形で実現したい。



どんだんガガガ隊!

熱い気持ちで絵を描こう!! 巨大画制作で、大人も子どもも、町も元気に!!

「どんだんガガガ隊! =子どもたちのお絵かきイベント」という認識を持ってもらえた。「巨大画制作」というシンプルな企画と「ガガガ隊!」という親しみやすい名前と、地域の関心も高く、よい活動が出来た。今後は、「ママガガガ!」「パパガガガ!」等、大人が描く場を創りたい。



<http://www.to-morrow.jp/>

千歳小おやじの会

千歳小学校のおやじたちが中心となって、校外学習を通じて、子どもたちの健全な育成と地域活動に対して貢献を行う

学校・PTAとの協力活動、会主催のサマースクール、徒歩帰宅体験会などを行う一方、児童館や地域団体のイベントにも積極的に参加し、地域貢献を図ると共に模擬店で自己資金を獲得。今後も資金・人材面での中長期的な活動基盤づくりを視野に活動していく。



<http://ameblo.jp/chitose-no-oyaji>

放課後あそび舎

学童クラブの子どもたちの日常に「外遊び」を! ~自分の住む町を知り、地域の方とのふれあう機会をつくりたい~

野毛公園で開催された「プレーカー活動」への参加や、子どもたちの料理教室「晩ご飯イベント」、土日・祝日に親子で楽しめるイベントやワークショップを実施した。いずれも地域の方のサポートや他の活動団体との協力関係により、開催することができた。



<http://moon.ap.teacup.com/asobiya/>

「世田谷まちづくりファンド」による助成により、まちづくり活動の拠点づくりが進められています。拠点が新たに1か所、完成しました！活動に参加しませんか？

■ せたがや水辺の楽校



多摩川河川敷に、子どもたちが安心して自然と触れ合うことのできる遊び場がオープン！これからは地域のみんなでバージョンアップしていきます。



せたがや水辺の楽校はらっぱ

子どもが自然とふれ合う遊び場づくり

自然環境が豊かな多摩川の河川敷に、遊べる井戸、可動式の日よけや釜戸ベンチ、ピオトープ等が整備され、子どもたちと子育て世代の自然体験を後押しする場が誕生しました。自然の中での滞在時間を増やす多摩川のランダムな場として、地域連携による異世代交流を育む体験学習と自然遊びの拠点となっているほか、地域の防災拠点としての機能向上にも繋がっています。

常時開放

一部の施設利用は、せたがや水辺の楽校ときめたまあそび村開園時に限る。
せたがや水辺の楽校あそびの日：毎月第1日曜日 10：00～
きめたまあそび村：毎週水曜日と土曜日 11：00～16：00

「せたがや水辺の楽校はらっぱ」は、2006年から地域みんなで少しずつ手作りしてきた、自然と共生する遊び場です。国や区との交渉、河川敷のため冬から春にしか工事ができないなど、様々な法的苦難を乗り越えやっと完成しました。今後も引き続き、安心して自然と触れ合える楽しい「はらっぱ」目指して、みんなで頑張ります。

手押しポンプ井戸、トンボ池ピオトープ、水路
日除け施設(ツリーシェルター) 丸太ベンチ・防災ベンチ

世田谷区鎌田1丁目地先 多摩川河川敷二子緑地
連絡先 せたがや水辺の楽校 [E-mail] shu@t3.rim.or.jp

砧・多摩川あそび村 [HP] http://semizube.exblog.jp/
[E-mail] dya@oasis.email.ne.jp
[きめたまあそび村] [HP] http://asobimura.exblog.jp/



二子玉川駅よりバス
砧本村ゆき 都市大総合グラウンド前下車徒歩1分
成城学園前ゆき 砧南中学校前下車徒歩5分
二子玉川駅より自転車 約10分(兵庫島河川敷経由)
徒歩 約20分(兵庫島河川敷経由)

まちが元気になる拠点ガイド

- [運営グループ]
- [オープン時間]
- [グループからPR]
- [ファンド助成で作ったもの]
- [所在地]
- [交通]

これまでの「まちを元気にする拠点」

地域のネットワークを取り結ぶ拠点です。

 守山テラス [代田6-21-5]	 やこの楽校 [粕谷1-5]	 癒しふれあい館 [玉川3-1]	 旧小田原 代官屋敷 [下馬4-9-4]
 のざわ テットーひろば [野沢3-14-22]	 世田一ハウス [世田谷1-48-18]	 たまでんカフェ 山下 [豪徳寺1-44-5 東急世田谷線 山下駅構内]	 そらまめ ハウス [代田4-38-52 羽根木公園内]

これまでの「ネット文庫」

まちづくりグループの経験や知見、スキル等が電子図書の形でまとめられています。当財団のホームページに、公開しておりますので、ご活用ください。

<http://www.setagayatm.or.jp/trust/fund/library/index.html>

19th

コモンスペース

Y あかねこうぼう

ギャラリーと手仕事で、地域を楽しく元気にするみんなの居場所づくり

地域共生のいえとして2年目を迎え、「はじめの一歩」の助成を基に、「ギャラリーと手仕事で地域を楽しく元気にするみんなの居場所づくり」をテーマに活動を行った。地域のまちづくり団体との協力や連携関係も生まれ、共催による新たなワークショップの計画も進んでいる。



♥ 働きたいママの応援café

子育てしながら×仕事もするママ応援 = 絵本カフェの仕事場づくり

子育てサークルや地域のイベントに参加し「働き方」の認知活動をおこなう。「働く」意識改革のための講座づくりや、アイデアや情報を交換しあう共同の職場スタイルの体験イベントを開催した。今後は、寺子屋大吉を拠点に、子育てしながら仕事もするスタイルの確立をめざす。



<http://daikiticafe.jimdo.com/>

♥ 岡さんのいえTOMO

『上北沢にひろがるみんなのお茶の間』づくり

助成金の対象の6イベントはすべて盛況。「地域にひろがる」をテーマに、上北沢小学校の「手づくり広場」参加や「まち歩き」の2つは外に出て開催。地元からの連携や協力の要請も相次ぎ、地域コネクションも緊密化した。これからも人々の満足と感動のために活動をつづけたい。



<http://www.okasannoie.com/>

♥ わいわいコミュニティ・たまがわ

多世代交流の拠点づくりに向けて

通常の「ゆったりカフェ」のほかに、父親向けの料理講座、参加している母親が企画した「食育講座」、フリマ形式で津波遺児のためのチャリティー・バザーも開催した。4年間の活動をまとめる機会も得て、今後も地域や世代間のつながりを意識的に模索し皆が主体になれるカフェを目指したい。



<http://blog.goo.ne.jp/waicom>

ネットワーク

Y Home care team meeting自由が丘

在宅療養者への地域における医療連携づくり

在宅療養者に関わる多職種の人々の情報交換や、講師を招いての勉強会を開催した。今後は、職種間の連携を取る為に何が必要か、行政・医師会・歯科医師会・薬剤師会・栄養士会・看護協会などとも密に連絡を取りながら、本当に在宅療養者が望むサポートを目指していく。



♥ ころからだ Selfeel(セルフフィール) 第20回アロマ×セルフケア協会Selfeel(セルフフィール)

香りで元気に!こころもからだもリラックス

子育て中の家族支援、コラージュワーク、オリジナル石鹸作り、相談Cafeを開催した。音楽と香りの空間で親子、家族、仲間とダンス&ヒップホップをする、まちなか交流を月1回定期的に実施している。引き続き「香りがこころとからだを軽くする」「まちづくりは人づくり」をモットーに活動中。



<http://selfeel.jimdo.com/>

♥ Welcom ch.(ウェルカムチャンネル)

世田谷区民と在住外国人とのネットワークづくり

プロのディレクターを招き、区民がスタッフキャストとして参加する番組制作を学ぶ実習を行った。区内活動団体などの協力を得て、区内のイベントなどを取材した多言語番組を編集し、Youtubeにアップした。留学生や帰国子女の協力を得るなど、交流の輪が広がった。



♥ 芦花公園しあわせの野音の会

芦花公園を中心とした文化の情報発信による地域の魅力アップ

蘆花恒春園で月1回パークライブを企画・開催している。"どこでも音楽"が出来るパークライブを確立することができた。ボランティア団体の交流会を通じ東京都公園協会との絆も深まった。今後も「音楽を通じてのまちづくり活動」を継続的に続けて、次世代につなげていきたい。



！ 行政との上手な付き合い方

まちは、いろいろな人々たちの生活や活動で成り立っており、まちづくり活動をしようとする、パートナーが必要となってくると思います。ここでは、力強いパートナーである「行政」と協働のまちづくりを進めるための付き合い方について紹介します。

1. まず、役所とコンタクトを取り、担当の部署と知り合う

何かやりたいこと、やらなくてはならないことが起こったら、まず、世田谷区内にある近くの出張所・まちづくりセンターを訪ねて相談してみるといいでしょう。役所では各部署で担当する事務が決まっているので、内容によって違う部署を紹介される場合もあります。この時、たらい回しにされたら怒らず、ネットワークが広がったと好意的に解釈しましょう。

2. 徐々に信頼関係をつくる

そして、情報をもらうことから始め、次は自分たちのやっていることを知ってもらい、その次は実践活動に協力してもらうというように、徐々に信頼関係をつくっていきましょう。

役所には「基本計画」という概ね10年間の計画があり、それを具体化した概ね1～3年の「実施計画」に沿って予算が立てられ、職員が配置されます。このため、いきなり、〇〇を手伝ってくれ、活動に補助してほしいと言われても対応が難しいと言わざるを得ません。徐々に信頼関係をつくり、実施計画に位置づけられて、担当職員や予算をつけてもらうよう粘り強く関係をつくっていきことが求められます。

ところで、現在の世田谷区基本計画は2005～2014年度までが、実施計画は2012～2013年度の2か年が計画期間です。つまり、今は新しい計画をつくっている最中で、計画に盛り込んでもらう最大のチャンスです。自分たちの活動を行政との協働の活動に発展させるこの機会をぜひ逃さず、働きかけてみてはどうでしょうか。

信頼関係をつくる一番の近道は、実績を上げることです。自分たちの団体はこういう問題に対してこのような取り組みをし、問題を解決しました、ということを経験などで見える化すると職員の対応が違ってきます。

また、情報を提供することも有効です。例えば、役所は他の部署の情報を知らないことが多いので、こっこの部署の情報をあちらの部署へと横つなぎしたり、地域の中にあるきめ細かな情報を伝えたりすることによって、「あの団体はしっかりしている」と信頼されると思います。

3. 新しい継続関係をつくる

とは言え、関係をつくっていくことは結構、大変です。担当者が熱心でも上司の関心が低かったり、進展しないうちに担当者が異動になったりします。

また、最近では市民と役所の何年間かにわたる協働で、せっかく作った関係性・信頼感が、行政の「公平性・透明性」という名の下に、何かの拍子にゼロになることがあります。

あるシンポジウムで協働のあり方を検討していた時に、「もっと癒着しよう」というキーワードが出てきました。癒着とは「好ましくない状態で強く結びついていること」(大辞泉)であり、いい意味ではありません。参加していたまちづくり団体の人たちは、既得権益を守ろうとしていたわけではありません。信頼関係を継続したい、ゼロにしないために何とかしたいという切なる願いから出たキーワードだと思います。

イギリスにはコミュニティ・アセット・トランスファーという土地や建物の運営権や所有権を自治体などの公的団体からボラ

ンティア団体や社会的企業に移譲するという制度があります。公的団体が土地や建物を無償であげたり、長期リースしたりするわけです。最近の日本なら指定管理になって5年、民間企業が可もなく不可もなく運営し、また違う事業者が入ってきて…というところを、イギリスではあるボランティア団体に25年間貸すわけです。役所が市民を信頼してますよね。逆に言えば市民が信頼を勝ち取っています。

イギリスを羨むのではなく、役所から信頼され、関係性を継続し、新規参入者にオープンな地域をつくっていきたいですね。役所から間違った公平性・透明性を言われたら、「それはおかしい、みんなで考えましょうよ」と言える付き合い方が望ましいと思っています。

最後に1～3に共通して、市民と役所が対等の立場で、お互いの敬意を払いながら、批判すべきときは批判しあって、よい関係をつくっていくことが重要だと思います。



佐谷 和江
(きたに かずえ)

(株)計画技術研究所
代表取締役

1986年よりまちづくりコンサルタントとして、マスタープランや公園設計等の行政計画を市民参加で検討するための企画・運営や、市民活動支援の制度設計等を実施。また、江戸川区の生涯学習機関である江戸川総合人生大学に学科長として携わっている。(特)日本都市計画家協会理事、世田谷まちづくりファンド運営委員。

【お薦め本】
「市民のためのまちづくりガイド」
著書：佐谷和江、日置雅晴、須永和久、山口邦雄
出版社：学芸出版社
2000年に出版され絶版ですが、現在、電子書籍化準備中。



編集後記

「世田谷の町を良くしたい」と思う住民の思いがたなげてきた、世田谷まちづくりファンド20回の絆。今年度は、東北の被災地への復興まちづくりへ地域を越えてつながりました。平成25年3月2日に開かれる「活動成果発表会」を楽しみにしててください。

■「結んでひらいて」74号 編集・発行



財団法人
世田谷トラストまちづくり トラストまちづくり課
〒155-0031 世田谷区北沢2-8-18 北沢タウンホール7階
電話：03-6407-3313 FAX：03-6407-3319

<http://www.setagayatm.or.jp/>